

## 第1回 まち・ひと・しごと創生総合戦略懇話会会議要旨

日時 平成29年6月20日(火)

午後 6時30分～8時15分

場所 宮代町役場202会議室

### 【出席者】

委員：折原昇・佐々木誠・内田正枝・深井義秋・小田桐静子・千葉庄一  
渡邊朋子・中島敏郎

事務局：大橋企画財政課長・野口副課長・榎本主査・小島主任

### 【会議要旨】

議題(1)～(3)について、事務局から説明し質問や意見を伺いました。

- (1) 総合戦略の平成28年度の取組みについて
- (2) 総合戦略にかかる国からの交付金の活用状況について
- (3) 宮代町定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」について

### 議題(1) 総合戦略の平成28年度の取組みについて

【資料①-1】「宮代町まち・ひと・しごと総合戦略・平成28年度進捗状況」

【資料①-2】「宮代町まち・ひと・しごと総合戦略・平成28年度進捗状況資料集」

(事前配布資料)

**中島委員**：会議の議題に入る前に、前回いろいろ意見がでていたと思います。宿題というか、それらに対して回答が出ていないものがあつたかと思います。1件、1件回答ということは難しいとは思いますが、本日の議題に入る前に、まずそれらについて要約したものでいいので、話があるものではないでしょうか。

**事務局**：資料①-1の最初のページに「昨年進捗状況について頂いた意見」として要約して書かせていただいております。これから、基本目標ごとにいただいた意見についても加味しながら、資料などを使って補足しながら説明させていただきたいと考えています。

### ≪総合戦略の平成28年度の取組みについて資料説明≫

**事務局**：ここままで質問などありますか。

**小田桐委員**：資料①-1のP15にあります「公共施設再編」とは、現在どのようなものが検討されているのでしょうか。

**事務局**：小中学校を中心とした再編計画を検討しております。小中学校は、それぞれ地域

の中心施設となっているので、それら小中学校の建て替えの際に、その他の公共施設を縮小して複合させるなど考えていくこととなります。これに関して、昨年、小中学校適正配置の説明会が行われましたが、様々なご意見をいただき、再度熟慮を要する必要性が生じていることから計画が進んでいない状況にあります。そのため、まだ具体的にどこをどうするという結論は出ておりません。

**中島委員**：昨年、小中学校適正配置の説明会が行われましたが、説明会の結果について何もフィードバックがされていないのでは。参加者と町側でお互いに言いつばなしだったと思います。私が参加した説明会では、反対意見が多くだされていきました。このままでは、地域の親たちは不安だと思います。

**事務局**：確かに、昨年の説明会は大きな課題を残したと思います。

現在、小学校が4校、中学校が3校ありますが、それらを将来的には再編するのですが、道仏地区の区画整理の関係で子どもが増えているので、当面小学校は4校とし、中学校は特に須賀地区の方は、子どもの数が減っているなので、部活動や専門教員の配置が難しくなっているため、今の3校を1校へとということで説明させていただきました。中学校を1校にした場合について、説明会では、特に距離の問題について意見が多く出たところです。教育委員会では、説明会での意見を踏まえて、再度検討することになりますが、現在の校舎を長寿命化した場合の費用なども含めて検討しているところで、すぐに回答できていないような状況です。

**中島委員**：久喜市は、小学校の数が多いけれど、小学校あたりの児童数は宮代町に比べて少ない。それでも久喜市はそれでやっていけています。子どもの人数の問題ではないのでは。

**内田委員**：久喜市も学校再編の話は出ています。合併する前の菖蒲など旧行政区を超えて、児童数の少ない学校同士の再編統合を検討しているようで、その方向で現実に話も進んでいるようです。

**千葉委員**：私は、市民ガイドクラブとして笠原小学校など案内していますが、笠原小学校は大変好評です。

宮代町がしっかりした目標を持った教育方針があり、そこに魅力があれば人を引き付けると思います。町のシンボルとなっている笠原小学校や最近話題のどんぐりピアノの須賀小学校などがそれを表していて、今持っているポテンシャルは決して低くはないので、それをどう使うかであって、学校の児童数の問題ではないと思います。

**事務局**：学校再編の他に何かご意見はありますか。

**佐々木委員**：さきほど説明にあった料理研究家の小松さんもそうですし、「みやしろで育てよっ」もプロの写真家さんの起用で、サイトの写真が以前と全然違っていて、宮代町の質が上がったと思われます。そこで質問ですが、このプロの方々への報酬は、ちゃんと予算をとって支払いされているのか、ある程度圧縮されたものなのか、どれくらいのものなのでしょうか。

**事務局**：こちらで把握している限りでは、「みやしろで育てよっ」のプロの写真家さんなどは、これまでの倍くらいの額をお支払いしています。料理研究家の小松さんに対しても、きちんと予算措置してそれなりにお支払いしていると思います。

**佐々木委員**：そうしていただきたいです。そうでないと小松さんもこういう活動が続かないと思います。また、これに限らず、引き続き必要などころにはきちんと予算をかけていただきたいです。

**事務局**：他になにかありますか。

**深井委員**：新しい村は、短い期間で社長が4回も交代している。町からの助成金は一番高額な時で4千万くらいあったようですが、人件費を削減しかなり縮小されたようです。新しい村も午前の11時くらいまではお客がいるけれど、それ以降はあまりいないようなので、午後もお客が呼べるような仕組みを作らなくてはいけないと思います。以前はバーベキューができましたが、今はできなくなっている。これをまたできるようにして食材は新しい村で用意するというのもいいと思います。

民間であれば、建物も土地も金融機関から融資を受け整備して、それらを返済していかななくてはいけないところですが、新しい村はそういったことがなく税金で運営しているのだから、それくらいの事業展開をしてほしいです。

**事務局**：新しい村は、昨年度から立て直しを図っている状況です。この後の交付金の説明の中でも、新しい村での取組みについてもご説明させていただきます。

**中島委員**：総合戦略の進捗状況ですが、目標を達成できているものが多く見受けられます。これは、目標の設定が甘いということではないのでしょうか。5年間かけて達成する目標が、1年で達成されているというのはPDCAがうまくまわっていないのではないのでしょうか。逆に目標が全然達成していないのも見直す必要があります。目標値の数字だけを達成することが目的なのではなく、中身が大切なのです。

それから、6次化産業という言葉がよく出ていますが、農家の方たちは、この6次化ということを理解しているのでしょうか。折原委員にお聞きします。

**折原委員**：6次化とは、農家さんだけが関わるものではないのです。紫いもにしても、宮代高校の料理研究部の生徒さんたちに商品のアイデアをもらっています。紫マルシェでもいろいろな紫野菜を扱っていますが、なかなか周知がいき届かず、一般の方たちの中には、紫野菜はとっつきにくいものと思われているところもあります。それを、さきほどの料理研究家の小松さんが、紫野菜の効能を説明していただくことで紫野菜の普及につながったり、宮代町ブランドとしてふるさと納税の返礼品になることで、新規就農者も紫野菜を手掛けていくということにつながっています。農業の6次産業化の推進には、農家だけでなく様々な人の関わりが必要になっています。

**事務局**：6次化につきましては、高齢者にとってはなかなか難しい面もあるところですが、めぐりネットという若い世代の新規就農者のグループがありまして、いろいろな紫野菜に取り組んでいるというところが現状です。

**折原委員**：農業の6次産業化に関しては、料理研究家の小松さんも参加して宮代郷土料理の調査も行っています。

**事務局**：宮代町の郷土料理の調査については、例えば節分の際に残った大豆をつかってつくる「すみつかれ」や呉汁を使った料理など、地域、1軒1軒農家を回りながら郷土料理の調査をしているとのこと。この郷土料理が、そのまま6次化につながるかというところと難しいと思いますが、6次化の種を今探しているところです。

**中島委員**：今の話は6次化ではないと思います。6次化というのは、生産者が加工して、商品にして販売する、1次、2次、3次をすべて同じ場所でやるのが6次化というものです。1次である生産者が、3次の販売までやるのは難しいと思います。それぞれがその分野で作業して商品の販売まで行っていくということが通常で、一兆一隻で6次化ということは難しいのです。すべてを理解して農家さんは行っているのかということとそこに疑問を感じたので質問しました。

**事務局**：おっしゃるとおり6次化というのは、1次、2次、3次をすべて同じ場所でやることです。町としては、農業と商工をつなげていきたいというところでこうした取り組みを行っているところをご理解いただければと思います。

来週も引き続き、総合戦略の平成28年度の取組みについて意見交換を行いますので、ここで休憩を入れて、次の議題に移ります。

## **議題（2）総合戦略にかかる国からの交付金の活用状況について**

【資料②】「総合戦略にかかる国からの交付金の活用状況について」

(事前配布資料)

《総合戦略にかかる国からの交付金の活用状況について資料説明》

**事務局**：(説明後) ここまでで質問などありますか。

**佐々木委員**：集会所全面展開のまちづくり事業で交付された1,400万ほどの使途はどのようなものなののでしょうか。また、持続性という点で、交付金が終わった後はどうなるのでしょうか。

**事務局**：大きく費用がかかっているのは、集会所を拠点に事業展開をすすめるための集会所の修繕や防災の拠点とするための備品の購入です。

**深井委員**：私も、集会所の修繕のため宝くじ助成金を申請したことがありますが、それとは違うものなのでしょうか。

**事務局**：町では、いろいろな助成金を探して申請を出していますので、それとはまた別のものです。

**渡邊委員**：資料の中に「地域の取組みが進まない課題の一つとなっている活動のキーマンとなる人材の育成」とありますが、これは具体的にどのようなことでしょうか。

**事務局**：例えば、地域交流サロンでは、健康づくりの体操などを行っています。その体操の指導員を増やす取組みとして介護予防リーダー養成講座を行っています。そうした講座の参加者などへ声掛けなどを行いキーマンの発掘をしています。町の中にいろんな活動があるのですが、そのキーマンとなる方がいつも同じということが多いのでその後継者を育てなくてはいけないところです。

**佐々木委員**：人材育成というより人材発掘ですね。その発掘する人材がどういう人であるのか、という人材像が曖昧なところがあるので、例えば、会社を引退された方、普段は働いていて忙しいが週末であれば協力できるパパなど、色々な人材像がありえる。そういう視点をもって人材発掘していくと発展性があるのでは。

**渡邊委員**：いろんなところに関わっている人は、いつも同じ人が多く、その方がいないと事業がまわらないところもあるのではないのでしょうか。

**事務局**：人材を発掘、育成していくという部分は難しいところでもあります。委員の皆様は様々な分野の団体に属していらっしゃるののでいろんな意見をいただきながら、今後もす

すめていきたいと考えております。

**中島委員**：この交付金は、まち・ひと・しごと総合戦略を実現させるための交付金であるのに、交付金の対象事業名が、各事業とつながらないので、そこを考慮して事業名を付けた方がよいのではないのでしょうか。

**事務局**：事業名につきましては、交付金を申請する際に、目立つ名称をあえてつけています。しかし、中島委員のおっしゃるとおり、この資料では、それぞれがどの事業に関連づいているのかわかりませんので、分かるような形でお示しできればよかったです。

**佐々木委員**：交付金がなくなった場合の事業の持続性をどう考えているのでしょうか。特に「地産地消による「農」まち推進事業」についてはどうですか。

**事務局**：地産地消による事業に対する交付金は、拠点整備のための初期投資となりますので、拠点ができあがれば、その後の事業につなげていけると考えております。

### **議題（3）宮代町定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」について**

【資料③】「宮代町定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」について」  
（事前配布資料）

#### **≪宮代町定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」について資料説明≫**

**事務局**：（P Cによりサイトを紹介しながら説明後）ここまでで質問などありますか。

**中島委員**：町の特徴として、大学があります。「みやしろで暮らそっ」の中にも大学の記事があってもよいのではないのでしょうか。

**事務局**：そうですね。本来であれば、ウェブサイトの「宮代ってこんな町」にあるべきでした。大学の情報はここではないのですが、サイト内に確かあったと思います。

**佐々木委員**：「みやしろで暮らそっ」のデザインがよくなったと思いますが、資料①-1を見るとアクセス数が目標は達成していますが、前年度に比べ減っています。どうしてなのでしょう。

**事務局**：ページに訪問した後のアクセス数が影響していると思います。1回の訪問でそのまま帰ってしまうとアクセス数が伸びません。逆に1回の訪問で「みやしろで暮らそっ」のたくさんのページを見てもらうとアクセス数が伸びます。たくさんのページを見てもらうということは、魅力がそれだけ伝わるということにもつながります。なぜ減ってしまっ

たのか分析するのは、なかなか難しいところもありますが、グーグルの分析ツールを利用してアクセス数増につなげていきたいと考えています。

**佐々木委員**：そこはちゃんと分析をしてアクセス数の増加に結び付けていただきたいと思いますね。

**事務局**：今のこの「みやしろで暮らそっ」は今年度新しくした部分がありますので、また今年度のアクセス数が伸びれば効果が測れるのかと思います。今回の宮代在住の方の暮らしぶりをとりあげた「暮らシロ」を作るにあたって、いろいろ他の自治体のサイトを参考にしまして、プロの写真家さんを起用して作りました。担当としても、中身も見栄えもとても雰囲気の良いものができたと感じていますが、まだまだの部分もありますので来週もご意見をいただきたい。

**事務局**：ありがとうございます。それでは、本日は時間も予定を過ぎておりますので、これで会議を終了とさせていただきます。